

# JF日本語教育 スタンダード

JF Standard for Japanese-Language Education

JF日本語教育  
スタンダードって  
何ですか？

よし、じゃあ一緒に  
見てみよう！



# JF日本語教育スタンダードは「相互理解のための日本語」を理念としています



現在、私たちは国や地域を超えて人々が盛んに交流するグローバル社会に生きています。  
このような社会で大切なのは、人間同士の相互理解です。  
言語によるコミュニケーションを通じて相互理解を深めていくためには、次の2つの能力が必要です。

**課題遂行能力: 言語を使って具体的な課題を達成する能力**

**異文化理解能力: お互いの文化を理解し尊重する能力**

これらの能力の育成を目指し、JF日本語教育スタンダード(JFスタンダード)は、世界中の教育現場での実践に役立つように開発されました。



人と理解しあうためには、  
ことばも文化も両方大切  
なんですわね。



その通り!

留学生: エリン

エリンの先生: ホニゴン

「エリンが挑戦! にほんごができます。」



# JFスタンダードは Can-doでレベルを示します


JFスタンダードでは、どのような文法を知っているか、単語や漢字をいくつ知っているかではなく、「日本語を使って何ができるか」という課題遂行能力をレベルの指標にしています。

この課題遂行能力を「~できる」という文で記述した**Can-do**は、A1~C2の6つのレベルに分けられており、この6レベルはCEFR<sup>注1</sup>と共通です。そのため、他の言語と同じ指標で日本語のレベルを捉えることができます。

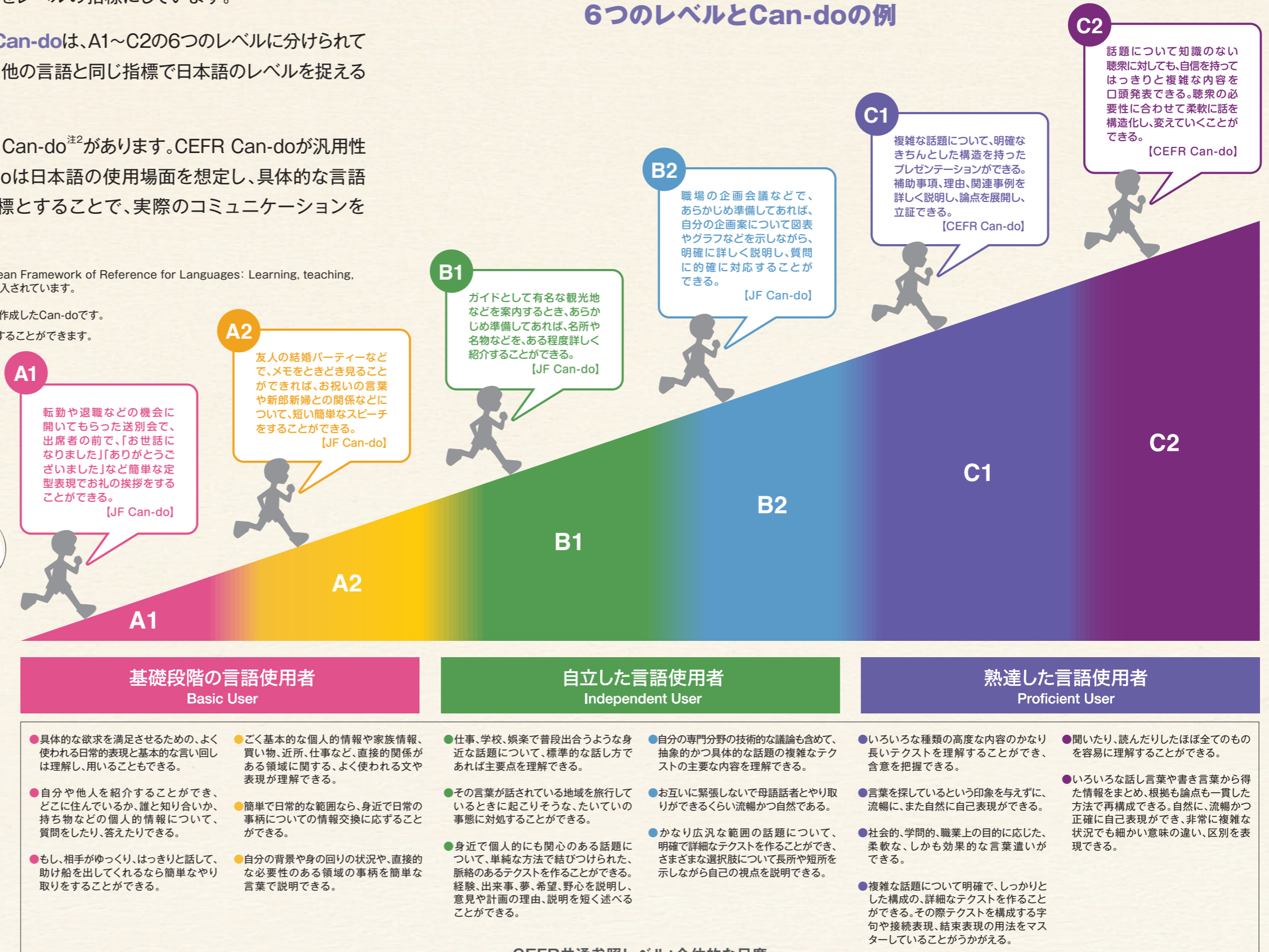
JFスタンダードのCan-doにはCEFR Can-doとJF Can-do<sup>注2</sup>があります。CEFR Can-doが汎用性の高い抽象的な記述であるのに対して、JF Can-doは日本語の使用場面を想定し、具体的な言語活動を例示するものです。このCan-doを学習目標とすることで、実際のコミュニケーションを目指した学習を設計することができます。

注1 欧州評議会が2001年に発表した「ヨーロッパ言語共通参照枠(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment)」の略。世界の言語教育・学習の場で共有される枠組みとして広く導入されています。

注2 CEFR Can-doはCEFRが提供するCan-doです。JF Can-doは国際交流基金が作成したCan-doです。

どちらのCan-doも  <https://jfstandard.jp/cando/> で検索することができます。

## 6つのレベルとCan-doの例





# JFスタンダードの木は コミュニケーションに必要な力を表します

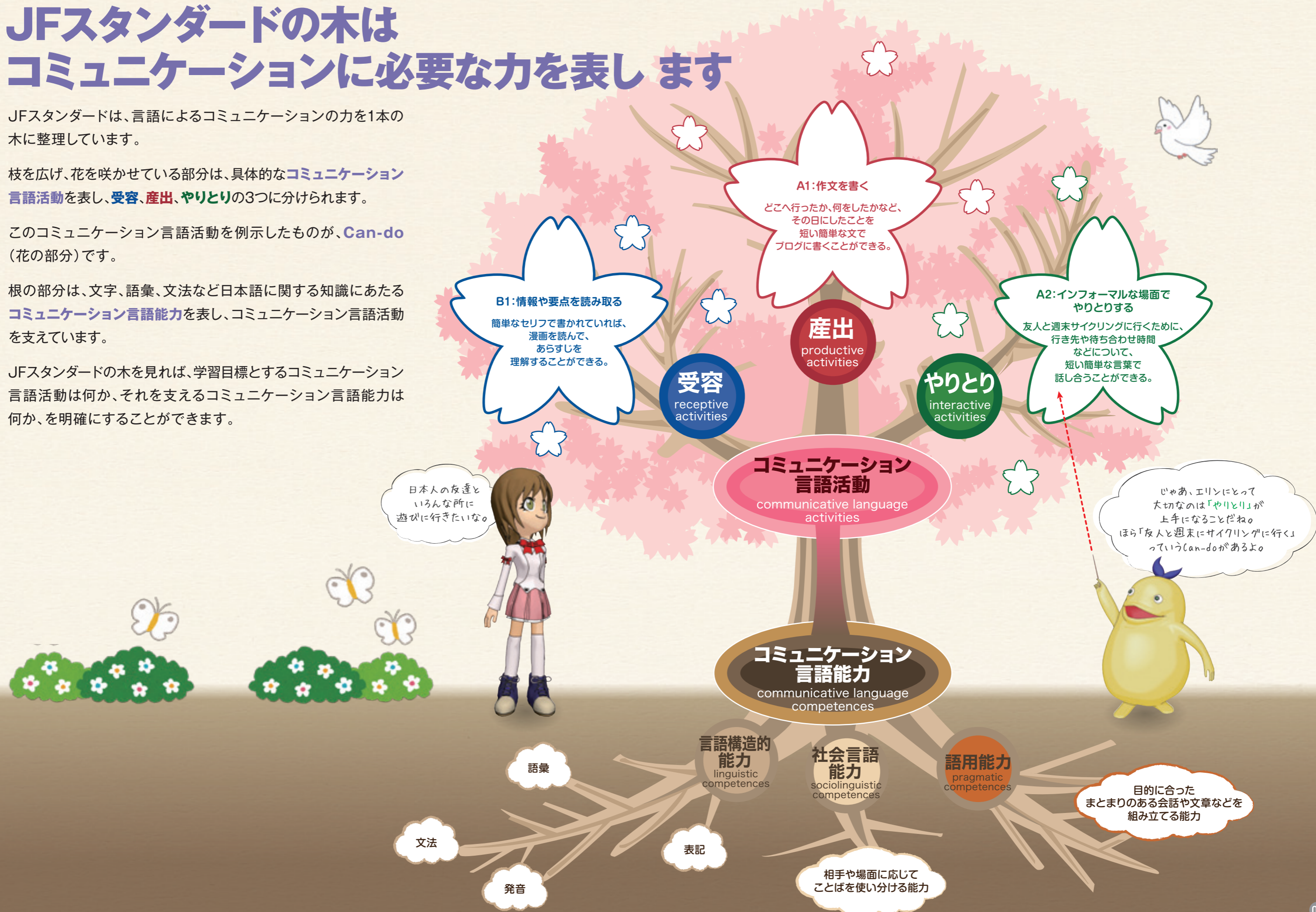
JFスタンダードは、言語によるコミュニケーションの力を1本の木に整理しています。

枝を広げ、花を咲かせている部分は、具体的な**コミュニケーション言語活動**を表し、**受容**、**産出**、**やりとり**の3つに分けられます。

このコミュニケーション言語活動を例示したものが、**Can-do** (花の部分)です。

根の部分は、文字、語彙、文法など日本語に関する知識にあたる**コミュニケーション言語能力**を表し、コミュニケーション言語活動を支えています。

JFスタンダードの木を見れば、学習目標とするコミュニケーション言語活動は何か、それを支えるコミュニケーション言語能力は何か、を明確にすることができます。





# 『まるごと 日本のことばと文化』は JFスタンダードをもとにした日本語 学習のかたちです

『まるごと 日本のことばと文化』は、課題遂行能力と異文化理解能力の育成を通して、世界中の人々との相互理解に貢献できる日本語学習を目指しています。

## 海外出版

海外出版の最新情報はWebサイトで検索することができます。

<https://www.marugoto.org/>

※出版している国：インド、インドネシア、韓国、タイ 他

JF日本語教育スタンダードに  
準拠した成人学習者向け  
コースブックです

学習目標は  
Can-doで示されています

異文化理解を重視しています

ポートフォリオを使って  
自分の学習を管理します



### Can-do

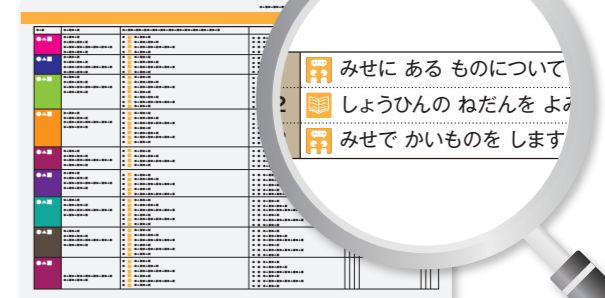
友人と一緒に買い物をしているとき、「かわいい」「ほしいな」など、短い簡単な言葉で感想を言うことができる。



ことばと文化を合わせて学ぶことができます。  
日本のことだけではなく、自分自身の文化についても  
ふりかえって考えることができます。



### 自己評価チェックリスト



ポートフォリオには自己評価チェックリスト、授業や文化体験についての感想、作文やスピーチの録音などを入れます。ポートフォリオを自分で管理することで、自律的な学習態度を養うことができます。また、ポートフォリオを見せることで教師やクラスメート、家族などと自分の学習プロセスや成果を共有することができます。





国際交流基金はJF日本語教育スタンダードを軸に  
海外の日本語教育のためにさまざまな事業を展開しています

# 評価

テスト作成  
評価手法開発

# JF日本語教育スタンダード

は 課題遂行能力・異文化理解 能力の育成を支援します



JF日本語教育スタンダード

<https://jfstandard.jp/>

JFスタンダードの概要や活用事例や関連資料、レベルをイメージできるようなレベル別サンプルを掲載しています。



みんなの Can-do サイト

<https://jfstandard.jp/cando/>

「みんなのCan-doサイト」は、Can-doのデータベースです。コースデザイン、授業設計、教材開発などCan-doを使った日本語教育実践をサポートします。

## JF日本語教育スタンダード準拠 ロールプレイテスト

口頭でのやりとり能力が測れるテストです。教師が現場に合わせて使えます。



<https://jfstandard.jp/roleplay/ja/render.do>

## レベル別サンプル

JF日本語教育スタンダードのレベルをイメージできるように、サンプルを掲載しています。



<https://jfstandard.jp/sample/ja/render.do>

## 『まるごと 日本のことばと文化』

『まるごと 日本のことばと文化』は、JF日本語教育スタンダードに準拠したコースブックです。



まるごと

<https://marugoto.org/>

# 教材開発

コースブック  
学習用ウェブサイト

## 「まるごと+」

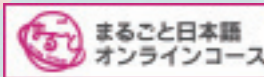
「まるごと+」は、コースブックの内容に沿って、日本語とその背景の文化が学べるサイトです。



<https://marugotoweb.jp/>

## 「まるごと日本語オンラインコース」

日本語学習プラットフォーム **eみなど** で開講されている総合的な日本語を身につけるためのコースです。



<https://www.marugoto-online.jp>

## 教師研修

海外で日本語を教える教師を対象に、JF日本語教育スタンダードにもとづいた研修を行っています。



# 教育実践

コース デザイン  
カリキュラム開発



## JF日本語講座

JF日本語教育スタンダードに準拠した日本語講座を実施しています。



JF日本語講座開設地(2020年2月現在26か国28講座)





# JF日本語教育スタンダード 関連サイト

JF日本語教育スタンダード

<https://jfstandard.jp/>

JF日本語教育スタンダードについての紹介サイトです。

みんなのCan-doサイト

<https://jfstandard.jp/cando/>

日本語の熟達度を「~できる」という形式で示したCan-doのデータベースです。

まるごと 日本のことばと文化

<https://marugoto.org/>

JF日本語教育スタンダードにもとづいて開発されたコースブック『まるごと 日本のことばと文化』と併せて使う教材や教師用リソースなどがダウンロードできるサイトです。

---

JAPAN FOUNDATION  国際交流基金  
<https://www.jpf.go.jp/>

国際交流基金 日本語国際センター  
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-36  
<https://www.jpf.go.jp/j/urawa>

国際交流基金は、海外での日本語教育の推進を通じて、国際相互理解に貢献しています。



VOC  
FREE T&K